（本邦分）明治三十年十月一日第三種郵便物認可　明治二十八年十二月十八日　第四千四百六十六號　（定價金一錢五厘）

時事新報

明治廿八年十二月十八日水曜日
舊暦乙未十二月三日（己亥）
（西暦一千八百九十五年）
三百五十二日
日出入　自　七時十七分　至　四時三十九分
月出入　午前　六時八分　午後　六時二十五分
朔望　午後　六時四十分
三百五十三日

時事新報には毒説詳細なる商況広告の報告あり

時事新報は全國中紙面の最も廣き新聞紙なり

時事新報

一見萬聞

誰れか百聞一見に如かずと云へり一見の經驗もとより輕んず可らずと雖も世間凡百の事物に巻く實地の經驗に非ざれば人生の實際に許さゞる所にして到底出來ざる注文なる其反對に百聞の知識を得るは甚だ容易にして單に百聞のみならず千聞萬聞多々ます〳〵辨ず可し則ち讀書學問の人生に必要なる所以なり或は其學問も雲烟過眼單に紙上の文字を瞥見し去るに止まるときは百卷の讀書、實地の一見に如かざるみともある可しと雖も苟も心を潔めて古來の實歴經驗に鑑み之を眼前の事實に照らして自から所世當事の實際に適用するの心掛あらんには讀書學問は取りも直さず實歴經驗を得る一種の方便にして一卷の讀書却て百回の經驗に優るの實も難きに非ず例へば書生が書を讀むにも政治論は壯快なり實業論は面白しと其壯快と面白さとに任せて漫然讀み去るときは讀み去て如何なる效能もなく他日事の實際に當り政界に出でんとするには小役人と爲るか又は壯士の群に入りて次第に立身を謀るの外なく又商賈人と爲るには年季奉公の丁稚と伍を成さゞるを得ず斯くては讀書學問も致方なけれども畢竟より大政治家たり大商人たるの心掛を以て政治論實業論を讀みたらば自から心に會得する所ありて實際の事に臨んでも思半ばに過ぐるもの多く政界商界の眞味を解するは必ずしも小役人年季丁稚の經驗を待たざる可し或は讀書學問を以て單に書生の事と爲すものあれども實際の事に當れば當るは必ます〳〵必要にして如何なる境遇に處しても其心掛は決して忘る可らざるものなり例へば商賈實業の事を見るにも之を處するに所謂一見の流義を以てするときは自家の經驗上新奇の事に遭ふごとに始めて一の新經驗を得るに過ぎず終日車に乘りて奔走し終夜眠らずして考へを巡らすも一見は詰り一見にして一日一見の經驗と積すのみなるに反し若しも忙中半日の閑を偷んで讀書學問に致すときは百聞の知識を得るふと雖きに非ず即ち單に事務に役ぜらるゝときは一日に一見として十日にして十見、二十日にして二十見の經驗に過ぎざれども半日の讀書に百聞の知識を得るものとすれば一日一見の經驗を益する其上に十日にして千聞、二十日にして二千聞の知識を利す可し斯くて其千聞高聞の知識を實際一見の經驗に應用するときは其効程は實に驚くなる經驗に比して必ず無倍の成績ある可し然れば如何なる經驗の事に當る人と雖も一日の時間を無駄にせず其一半は事務に經驗して一見の經驗を勉むる人は其他の一半は讀書學問に心を潔めて百聞の知識を得るの時代なり若し世の中に文字印刷の發明なきに時代なりとせば愛の一見の經驗に倣ひ世間凡百の事物と雖も人事萬端皆悉く多くの利益ありて古今識者の人○[illegible]千百年の間に於ける[illegible]

官報

○詔勅

朕貴族院多額納稅者議員互選規則第二十四條ニ依リ山形縣ニ於テ貴族院多額納稅者議員闕員ノ爲ニ補闕選擧ヲ行フヘキコトヲ命ス

御名御璽

明治二十八年十二月十六日　内閣總理大臣　侯爵伊藤博文

○勅令

朕陸軍監督補ヲ監督講習生トナスノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十八年十二月十六日　陸軍大臣　侯爵大山巌

勅令第百六十三號

陸軍監督補ヲ監督講習生トナスノ件

第一條　監督學校外ニ於テ陸軍監督ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第十條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第十一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第十二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第十三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第十四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第十五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第十六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第十七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第十八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第十九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第二十條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第二十一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第二十二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第二十三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第二十四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第二十五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第二十六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第二十七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第二十八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第二十九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第三十條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第三十一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第三十二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第三十三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第三十四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第三十五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第三十六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第三十七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第三十八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第三十九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第四十條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第四十一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第四十二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第四十三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第四十四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第四十五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第四十六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第四十七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第四十八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第四十九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第五十條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第五十一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第五十二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第五十三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第五十四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第五十五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第五十六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第五十七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第五十八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第五十九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第六十條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第六十一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第六十二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第六十三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第六十四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第六十五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第六十六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第六十七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第六十八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第六十九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第七十條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第七十一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第七十二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第七十三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第七十四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第七十五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第七十六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第七十七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第七十八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第七十九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第八十條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第八十一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第八十二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第八十三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第八十四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第八十五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第八十六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第八十七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第八十八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第八十九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第九十條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第九十一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第九十二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第九十三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第九十四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第九十五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第九十六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第九十七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第九十八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第九十九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百十條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百十一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百十二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百十三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百十四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百十五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百十六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百十七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百十八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百十九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百二十條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百二十一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百二十二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百二十三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百二十四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百二十五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百二十六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百二十七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百二十八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百二十九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百三十條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百三十一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百三十二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百三十三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百三十四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百三十五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百三十六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百三十七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百三十八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百三十九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百四十條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百四十一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百四十二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百四十三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百四十四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百四十五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百四十六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百四十七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百四十八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百四十九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百五十條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百五十一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百五十二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百五十三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百五十四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百五十五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百五十六條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百五十七條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百五十八條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百五十九條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百六十條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百六十一條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百六十二條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百六十三條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百六十四條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

第百六十五條　監督學校ノ教官ニ適當セシ文官ヲ監督補ニ任シ陸軍監督ヲ命ス

勅令第百六十五號

陸軍工兵監督補充條例中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

明治二十八年十二月十六日　陸軍大臣　侯爵大山巌

勅令第百六十六號

陸軍工兵監督補充條例中改正ノ件

第一條　工兵監督ノ補充ハ現役工兵曹長工兵一等軍曹（一等軍曹ハ實役伴年一箇年以上ノ者）中忠勤者ニシテ其人隊ノ日（歩兵連隊ニ於テハ其人隊ノ日ヨリ起算シ十二箇年以上ノ者）ヨリ起算シ十二箇年以上ノ者ハ任官ノ日以下之ニ倣フ）ヨリ起算シ七箇年以上現役ニ服シ所定ノ檢査ニ合格シタル者ヲ以テス

第二條　工兵監督ノ服役年限ハ監督ニ任シタル日ヨリ更ニ四箇年間現役ニ服セシム其役滿ルトキハ人隊ノ日ヨリ起算シ十二箇年ニ滿タサル者ハ其未滿ノ年月間曾役ニ服セシム

第三條　現役中疾病若クハ傷痍ニ依リ現役ニ堪ヘサル者ハ其役ヲ免ス但人隊ノ日ヨリ起算シ十二箇年ニ滿タサルトキハ後備役ニ編入ス

第四條　第五條中假書ヲ左ノ如ク改ム

但人隊ノ日ヨリ起算シ七箇年間曾月ニ滿タサル者ハ後備役ニ十二箇年間曾月ニ滿タサル者ハ後備役ニ編入ス

勅令第百六十七號

陸軍工兵監督補充條例中左ノ通改正ス

第一條中七箇年以上ヲ「五箇年以上」ニ改ム

第三條　工兵監督ノ服役年限ハ監督ニ任シタル日ヨリ更ニ七箇年間曾月

第四條中假書ヲ左ノ如ク改ム

但人隊ノ日ヨリ起算シ七箇年間曾月ニ滿タサル者ハ後備役ニ十二箇年間曾月ニ滿タサル者ハ後備役ニ編入ス

勅令第百六十八號

陸軍工兵監督補充條例（明治二十二年一月十七日官報）抄錄

第九條　當分ノ內工兵監督ハ陸軍高等監督中忠勤者ニシテ所定ノ檢査ニ合格シタル者ヨリ任用スルコトヲ得

勅令第三號陸軍工兵監督補充條例（明治二十二年一月十七日官報）抄錄

第一條　工兵監督ノ補充ハ現役工兵曹長工兵一等軍曹（一等軍曹ハ實役伴年一箇年以上ノ者）中忠勤者ニシテ其入隊ノ日（歩兵連隊ニ於テハ其入隊ノ日ヨリ下士ニ任セラレタル者ハ任官ノ日以下之ニ倣フ）ヨリ起算シ七箇年以上現役ニ服シ所定ノ檢査ニ合格シタル者ヲ以テス

第三條　工兵監督ノ服役年限ハ監督ニ任シタル日ヨリ更ニ四箇年間現役ニ服セシム其役滿ルトキハ人隊ノ日ヨリ起算シ十二箇年ニ滿タサル者ハ其未滿ノ年月間曾役ニ服セシム

第四條　現役中疾病若クハ傷痍ニ依リ現役ニ堪ヘサル者ハ其役ヲ免ス但人隊ノ日ヨリ起算シ十二箇年ニ滿タサルトキハ後備役ニ編入ス

雜報

○敍任辭令

歩兵第九旅團長陸軍少將男爵大鳴義昌

第五師管軍法會議判士長敍任

陸軍二等軍醫正從六位敍四等　志村正存

任陸軍一等軍醫正（以上十二月十五日）

兵庫縣知事內閣副長　橋須賀縣守府海兵團副長海軍少佐　大井上久慶

兵庫縣警察通信部部長敍任　橋須賀縣守府海兵團分隊長海軍大尉　林鶴俊

兵庫縣警察通信部員敍任　橋須賀縣守府海兵團分隊長海軍大尉　山田猶之助

兵庫縣警察通信部員敍任　橋須賀水雷隊攻擊部長海軍大尉　中村直枝

兵庫縣警察通信部員敍任　橋須賀縣守府海兵團分隊長海軍大尉　有馬條三郎

兵庫縣警察通信部員敍任　橋須賀縣守府海兵團分隊長海軍大尉　吉井幸藏

兵庫縣警察通信部員敍任　橋須賀縣守府海兵團分隊長海軍少佐伯爵